

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

世界の交流人口は大幅に増加を続ける一方、我が国においても、インバウンド(訪日外国人旅行)の著しい伸長、OTA(オンライン・トラベルエージェント)の台頭、民泊法制化など、旅行産業を取り巻く環境は目まぐるしい変化を遂げてきた。昨年は新型コロナウイルスにより、観光業界全体が壊滅的な打撃を受け、業界の構造そのものが変わろうとしているが、人の旅に対する欲求は変わるものではない。

この演習では、「ツーリズム産業の深掘り」という主題の下、旅行産業および関連する観光分野におけるテーマをグループごとに抽出し、調査・検討した成果を発表し合うことにより、課題解決に向けた能力を向上させることを目指す。そのためには、次の点が重要となる。

- ・解決が必要な課題をどのように抽出するか
- ・課題に関する情報や資料をどのように収集するか
- ・課題をどのように整理してまとめ、説得力ある説明を行うか

国際政治から企業活動に至るまで、そこで行われている課題解決に向けた取り組みの多くは、上記のプロセスの繰り返しである。したがって、この演習を通じ、問題点を見つける力、論理を構成する力、発表する力、議論する力を身につける。

また毎回の授業では、業界の最新情報を共有するとともに、必要に応じて関係する企業・団体等を訪問してキャリアパスにつなげる。

2. 授業の到達目標

課題抽出、仮説設定、自分の意見を発表、他者と議論という一連のプロセスを身につけることを目標とする。グループごとに深掘りしたテーマは、研究報告書としてまとめ、冊子にする。

3. 成績評価の方法および基準

研究報告書の完成度合い(70%)および演習への参画態度・取り組み姿勢(30%)で評価する。出席状況が悪い場合は減点とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

各グループが研究テーマに則した文献を自分たちで選定する。その他資料は、適宜席上配布するなりEメールで配信する。

5. 準備学修の内容

報道されている旅行・観光に関するニュース(特に観光庁の政策や業界動向)に、絶えず興味を持って接してほしい。そしてあくなき好奇心を持って、疑問に思ったことはすぐ調べる姿勢で臨むこと。また、研究テーマに即した文献は月に1冊は読むようにしてほしい。

グループワークでは、各人に割り当てられた役割の進捗状況を毎回グループ内で話し合い、全体の位置づけを確認しながら進めること。

6. その他履修上の注意事項

積極的かつ建設的に議論に参画してほしい。話す技術の向上を目指すのも勿論だが、聴く技術・聴く姿勢の向上も期待する。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション&夏休みのエポックメイキング体験発表プレゼン実習 |
| 【第2回】 | グループワーク:研究テーマの深掘り(1) |
| 【第3回】 | グループワーク:研究テーマの深掘り(2) |
| 【第4回】 | (オンライン):報告書としての文章落とし込み |
| 【第5回】 | グループワーク:研究テーマの最終仮仕上げ |
| 【第6回】 | 研究テーマの最終仮仕上げ案発表 |
| 【第7回】 | グループワーク:報告書ドラフト作成 |
| 【第8回】 | グループワーク:報告書ドラフト完成 |
| 【第9回】 | 研究テーマの成果発表と討論(1) |
| 【第10回】 | 研究テーマの成果発表と討論(2) |
| 【第11回】 | 報告書の最終仕上げ(1) |
| 【第12回】 | 報告書の最終仕上げ(2) |
| 【第13回】 | 報告書一次校正 |
| 【第14回】 | 報告書二次校正 |
| 【第15回】 | まとめ |